

with コロナ時代の広報戦略

日時 ・ 会場	【東京】 東京ガーデンパレス 2022年4月14日（木） 13:00～16:15	【大阪】 大阪ガーデンパレス 2022年4月21日（木） 13:00～16:15
	参加料 会員：1名無料、追加5,500円 / 一般：19,800円	
定員	東京・大阪 各60名（いずれかご都合のよい会場をお選び下さい。） ※ 本セミナーは録画し、 本会 Web サイトに動画を掲載いたします（会員限定・無料） 。ご参加できなかった方は録画視聴をお申込み下さい。 ※ 非会員の方には、DVD販売（19,800円消費税込）をいたします。申込フォームよりお申し込みください。	

プログラムと講師略歴

■ 13:00～14:30

ニューノーマル時代の“あるべき”大学広報の姿

さかき
榎

じゅんえい

淳英氏 [筑紫女学園大学 連携推進部進路支援班長]

1. 大学広報とは何か
2. コロナ禍の現状と課題（本学の事例から）
3. ありたい広報と望まれる広報のギャップ
4. まとめ

2002年4月学校法人筑紫女学園に入職。これまで管理職として入試・広報などを経て、2021年4月より現職。業務の傍ら、高校生・保護者向けにキャリア関連の各種講演、コーチングを基にしたスポーツ選手の価値を高めるマインド養成セミナーなど多数実施。現在は大学生向け進路支援に関するプログラムの開発・運営など、キャリア支援をライフワークとしている。

■ 14:45～16:15

with コロナ時代の広報戦略～「大学のメディア化」への展望～

たにのうち さとし

谷ノ内 識氏 [追手門学院大学 広報課課長]

1. はじめに
2. 大学広報の今
3. SNSの台頭と進む大学のメディア化
4. 求められる広報人材像
5. コロナ禍で進む働き方の見直しの中で
6. おわりに

1999年NHK入局、記者。2006年から学校法人追手門学院専任職員。企画課、入試広報課、経営戦略室、理事長室、管財課を経て、2015年から広報課長。2018年同志社大学大学院総合政策科学研究科博士課程修了、博士（政策科学）。専門は広報・PR論。2021年から日本広報学会理事、日本実務教育学会研究委員。近著に「大学広報を知りたくなったら読む本」（大学教育出版）。